

「カンポ・リンポ・パウリスタ市保健所建設計画」 供与式



西林総領事の挨拶



西林総領事（左）とハシモト市長
（右）
による記念プレートの除幕式

2006年12月19日、サンパウロ州カンポ・リンポ・パウリスタ市において、同市に対する草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式が行われました。

式典には、当館から西林万寿夫総領事、同市のアルマンド・ハシモト市長をはじめ、ロベルト・ヤマモト・カイエイラス市会議員、アルベルト・ナシロ・ジュンジアイ日系団体会長等約120名が出席し、盛大に行われました。

西林総領事は、「この支援により、カンポ・リンポ・パウリスタ市の低所得者が集中するパルケ・インターナショナル地区に新たな保健所を建設したことによって、住民の医療保健環境が改善される事を期待する」と挨拶をしました。

ハシモト市長は、「私の先祖である日本国民がブラジルの貧しい人々の生活が良くなるために資金の提供をしてくれた事に感激しており、市長としても貧しい地域に保健所を建てられた事をととても誇らしく思う」と謝意を述べました。

この後、記念プレートの除幕や施設の見学、式典に参加されていた近隣都市の日系団体の皆様と記念撮影等が行われました。

○上記案件のプロフィール

案件名：「カンポ・リンポ・パウリスタ市保健所建設計画」

被供与団体：カンポ・リンポ・パウリスタ市

契約書名式：2006年2月14日

供与額： 約172,000リアル

案件概要：カンポ・リンポ・パウリスタ市（人口 7.3 万人）は、サンパウロ近郊に位置し、サンパウロへの通勤者も多い町です。

同市は、1991年以降人口増加率が高く、特に低所得層の集まる地域に人口が集中しています。今回の無償資金協力は、特に人口増加率の高いパルケ・インターナショナル地区の既存保健所を移転させ、新たに保健所を建設するための費用を援助したものです。

供与品目：診療室 7 室、受付、待合室、トイレ等、総面積 237.6 平米の建物が供与されました。



保健所外観